

映画

「日本と原発」

なぜ弁護士が
ドキュメンタリー映画を
作らねば
ならなかったのか？

丸二年の歳月をかけて、
弁護士二人がその目で、
耳で確かめた
原発の真実とは。

神戸上映会



河合弘之監督(弁護士)来神

映画「日本と原発」上映後に河合監督の講演会を予定しています。

万が一、急な裁判などの都合で河合弁護士が来神できなくなった場合は、原発訴訟弁護団のメンバーが代理でご報告を頂く予定です。予めご了承ください。

9月26日(土)

13:15 開演 (開場 12:45)

15:45 ~ 16:45 河合弁護士講演 (予定)

会場：兵庫県民会館

12階 パルテホール

入場料：1,000円 定員：170名

主催：生活クラブ生活協同組合都市生活

NPO 法人都市生活コミュニティセンター

問い合わせ：NPO 法人都市生活コミュニティセンター

電話：0798-36-6679 FAX：0798-36-5114

URL <http://www.toshiseikatsu.net/npo>

メール info_tcc@toshiseikatsu.net

※申込みは裏面の申込用紙を FAX 頂くかお電話でご連絡ください。

会場案内図



JR/阪神「元町」より徒歩7分
地下鉄「県庁前」東1・2出入口/バス停「県民会館前」下車すぐ

9月26日
神戸上映会

映画

「日本と原発」

私たちは原発で幸せですか？



【写真提供：Kプロジェクト】

製作・監督／河合弘之

構成・監修／海渡雄一

制作協力／木村結

音楽／新垣隆

脚本・編集・監督補 拝身風太郎

制作／Kプロジェクト

【お話を伺った方々】

青木秀樹 アナトーリー・チュマク 飯田哲也

エフゲーニャ・ステパノワ 大島堅一 川口登 小出裕章

コンスタンティン・ロガノフスキー 古賀茂明 鈴木大介

高野仁久 田中三彦 馬場有 (敬称略)

この映画は、弁護士河合弘之と盟友弁護士海渡雄一、訴訟を共に闘う木村結の3人が多くの関係者、有識者にインタビュー取材を行い、現地での情報収集や報道資料等を基に事故に巻き込まれた人々の苦しみ、原発事故を引き起こした背景、改善されない規制基準、エネルギー政策のウソと真実を追求したドキュメンタリー映画である。

1953年、国連総会で「原子力の平和利用」が世界に発信されて以降、「夢のエネルギー」として国を挙げて取り組んできた原子力発電。

<夢のエネルギー開発が明るい未来を創る>。

これを信じ、原発の安全を信じてきた私たち。

でも、その夢は2011年3月11日に発生した東京電力福島第一原子力発電所の、発電史上最悪の事故によって、無残に碎かれることになりました。

しかも、それは、地震・津波によって瓦礫に埋まっただまのまだ生きているかもしれない人々を放置して故郷を後にするという経験したことのない災害という形になって私たちを苦しめることになってしまったのです。

故郷を追われた人々は今も苦しみ続けています。それでも再稼働を推し進めようとする政府と行政。

何がそうさせるのか、新規制基準によって再稼働することにはどんな問題があるのか。どんな利益があるのか。

丸2年の歳月をかけて、弁護士河合弘之と盟友弁護士海渡雄一、訴訟を共に闘う木村結の3人は、いくつもの裁判を闘いながら、多くの被災者に向き合い、有識者と語り合い、故郷を手放すことになってしまう災害とは何かについて、真実の声を聴き続けてきました。

私たちは原発で幸せですか？

切り取り

映画「日本と原発」上映会 申込書

FAX : 0798-36-5114

下記申込書にご記入の上 FAX にてお出し頂くか、お名前とご連絡先をお電話 (tel : 0798-36-6679) もしくはメール (info_tcc@toshiseikatsu.net) にてお知らせください。

お名前

ご連絡先 (お電話番号)

※お書きいただいた個人情報は当該企画の連絡等以外には使用いたしません。